

2022年12月6日

各 位
ニュースリリース

会 社 名 神果神戸青果株式会社
代 表 者 代表取締役社長 原田 俊一
問い合わせ先 常 務 取 締 役 籠田 滋
(電話番号 078-671-5513)

会 社 名 株式会社神明ホールディングス
代 表 者 代表取締役社長 藤尾 益雄
問い合わせ先 経営管理本部 久保 忠博
(電話番号 078-569-0010)

資本業務提携契約締結に関するお知らせ

神果神戸青果株式会社（以下「神果神戸青果」といいます。）と株式会社神明ホールディングス（以下「神明HD」といいます。）は、それぞれ、2022年11月18日開催の神明HD取締役会、2022年11月26日開催の神果神戸青果取締役会において、両社の青果流通事業の強化・拡大、神戸市場本場、明石市場、尼崎市場の活性化、兵庫県を中心とする農産物流通の活性化等に積極的に取り組むことを目的に、資本業務提携（以下「本提携」といいます。）契約を締結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本提携の内容

① 資本提携について

- ・ 神明HDは本提携締結後、神果神戸青果の発行済普通株式総数の約15%を取得いたします。

② 業務提携について

- ・ 神果神戸青果及び神明HD（以下「両社」といいます。）は、産地からの集荷や兵庫県を中心とする量販店、外食・中食などへの販売において、積極的に連携し、神戸市場本場、明石市場及び尼崎市場の仲卸・買参人、神果神戸青果の既存の産地・出荷者に対して貢献してまいります。
- ・ 両社は、営業に関する情報共有やグループ間取引にとどまらず、効率化に向けたシステムや物流の連携、働き方改革に向けた労務管理など、あらゆる分野におけるお互いのノ

ノウハウを共有し、各社の企業価値の向上につなげてまいります。

2. 本提携の背景及び理由

① 青果卸売市場を取り巻く経営環境

我が国の青果物流通におきましては、少子高齢化による需要の減少に加え、農家の減少による生産量の減少が深刻になっております。加えて、直売所や宅配の増加に見られますように、青果物の流通形態が多様化し、卸売市場経由率の低下傾向が続いております。

さらに、集荷におきましては、合併による JA の大型化、大規模生産者への農地集約化などによる出荷者の発言力の高まり、販売におきましては、加速する再編・系列化によるスーパーマーケットの購買力の高まりに加えて、ホームセンター、ディスカウントストア、ドラッグストア等の新業態の食品販売への参入による競争激化等により、青果卸を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しております。

また、2024 年度からはトラック運送業界の働き方改革に伴う物流コストの上昇や、遠方の産地からの集荷が難しくなることも予想されております。

一方で、一昨年卸売市場法改正により、卸売市場における経営の自由度が高まったため、多様な取引に取り組むチャンスも到来しております。我が国の青果物流通における重要な社会インフラである卸売市場の機能を維持、発展させて行くためには、商流と物流の両面から、効率的な卸売市場のネットワークを形成するとともに、経営基盤を拡大して行くことが必要不可欠であると考えております。

② 本提携により期待されるシナジー効果

両社は、本提携により、以下のようなシナジー効果を期待しております。

- ・ 卸売市場を通じた青果流通事業において、両社を合わせた取扱高は、前年実績で約 1,600 億円となるため、集荷、販売及び物流等において規模のメリットを活かせることを期待しております。
- ・ 兵庫県最大の青果卸と神戸市に本社を置く神明 HD が組むことにより、神戸市をはじめとする兵庫県内の産地（出荷者）や販売先からの注目や期待が高まり、神果神戸青果が拠点とする 3 市場において、取扱数量、取扱高の拡大につながることを期待しております。
- ・ 神果神戸青果と神明ホールディングスグループ青果卸会社との間で、グループ間における青果物取引を拡大するとともに、あらゆる分野におけるお互いのノウハウを共有することにより、各社の企業価値の向上につながることを期待しております。
- ・ 神果神戸青果と株式会社神明の西日本営業部とが連携することにより、神戸市及び兵庫県内の量販店、外食・中食への青果物、米穀類、食品などの販売拡大につながることを期待しております。

3. 両社の概要

① 神果神戸青果の概要

(1) 名 称	神果神戸青果株式会社
(2) 所 在 地	兵庫県神戸市兵庫区中之島 1 丁目 1 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 原田 俊一
(4) 事 業 内 容	青果物卸売業
(5) 資 本 金	2 億円
(6) 企業 Web サイト	http://www.kobe-shinka.co.jp

神果神戸青果は、1958年6月に神戸市中央卸売市場における4社の青果卸（神戸中央青果株式会社、神戸協同農産株式会社、神戸青果荷受株式会社、兵庫園芸協同株式会社）が合併し、同年10月に創業いたしました。2007年2月に明石市公設地方卸売市場の株式会社明石明果を吸収合併して明石支社とし、2015年11月には尼崎市公設地方卸売市場に尼崎支社を設置したため、現在は、兵庫県内の3つの卸売市場を拠点に約340億円の取扱高となり、創業以来の「より豊かな食生活を」をモットーに、安全で安心な生鮮青果物を消費者の皆様にお届けしております。

② 神明 HD の概要

(1) 名 称	株式会社神明ホールディングス
(2) 所 在 地	兵庫県神戸市中央区栄町通 6 丁目 1 番 21 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤尾 益雄
(4) 事 業 内 容	グループ全体の経営企画、経営管理
(5) 資 本 金	1 億円
(6) 企業 Web サイト	https://www.shinmei-holdings.co.jp

神明 HD は、1902年に米穀卸として兵庫県にて創業、1950年に神戸精米株式会社(現・神明 HD)を設立し、現在は、「私たちはお米を通じて、素晴らしい日本の水田、文化を守り、おいしさと幸せを創造して人々の明るい食生活に貢献します」の企業理念のもと、米穀の卸売業を中心に、青果物、水産品、外食分野等の多種多様な事業展開を行うことで、「川上から川下までの食のバリューチェーン構築」を目指しており、現在のグループ全体の取扱高は約3,720億円に達しております。

青果物事業につきましては、東京都中央卸売市場豊洲市場、柏市公設総合地方卸売市場を拠点とする東京シティ青果株式会社、大阪市中央卸売市場東部市場の東果大阪株式会社、岡山市中央卸売市場の大同印岡山大同青果株式会社、成田市公設地方卸売市場のシティ青果成田市場株式会社を通じた青果流通事業、株式会社雪国まいたけを通じたきのこ類の製造販売事業、名水美人ファクトリー株式会社を通じたもやし、カット野菜の製造販売事業を展開しており、青果関連事業全体の取扱高は約1,800億円となっております。

以上